

医学講義1「上部内視鏡検査によるピロリ感染状態の診断と除菌による胃がん予防」

北海道対がん協会 会長 加藤元嗣 先生

北海道大学をご卒業し関連病院で研鑽を積まれ、米国での留学を経た後に20年以上北海道大学病院の光学医療診療部を指導されてきました。その後は国立函館病院院長を経て、現在は北海道対がん協会会長としてご活躍されています。日本消化器内視鏡学会理事や日本ヘリコバクター学会の理事長をお努めになられた経歴で、ライフワークはピロリ除菌による胃がん予防で、各方面でピロリの診断と除菌の普及に力を入れ、日本のトップランナーとして現在もご活躍中です。



医学講義2「胆膵内視鏡検査と治療の最前線～内視鏡技師に知っておいてほしいこと～」

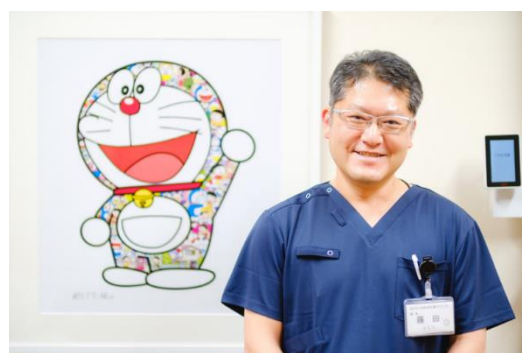
札幌医科大学附属病院 腫瘍内科・血液内科（第四内科）石川和真 先生

札幌医科大学をご卒業後は北海道内の関連病院で研鑽を積まれ、2020年からは国内有数のハイボリュームセンターである静岡がんセンターへ留学をされ、2022年より現職。胆道膵臓疾患の診療を主とし、主な研究実績は悪性腫瘍における遺伝子パネル検査に適切な組織検体を、EUS-FNAでいかに採取するか、ということ学会報告・論文化されています。主に内視鏡による、胆膵疾患の診断と治療を中心にご活躍されています。

医学講義3「小腸内視鏡診療におけるストラテジーと新規人体寄生虫 Corynosoma 症の最新の知見」

さいわい内科消化器クリニック 院長 藤田 朋紀 先生

札幌医科大学をご卒業後は北海道内の関連病院で研鑽を積まれ、2022年より現職。ダブルバルーン内視鏡やカプセル内視鏡を用いた小腸病変の診断と治療の第一人者でもあり、術後再建腸管に対するERCPでバルーン内視鏡加算が算定できるようにご尽力されました。今回は小腸内視鏡に加え寄生虫のお話もお願いしております。日本消化器内視鏡学会北海道支部技師会担当の先生でもあります。



技師講演「消化器内視鏡検査・周術期管理の標準化への道のり」

戸田中央総合病院 土田美由紀 先生

日本消化器内視鏡技師会 総務委員・関東消化器内視鏡技師会 副会長として長きにわたりご活躍され、過去には全国技師学会長を2度もお務めになった経験をお持ちです。特に「内視鏡検査・周術期管理の標準化に向けた研究会」では発起当初からのメンバーで、ハンドブック作成にご尽力された先生です。出生は札幌ということもあり、今回は凱旋講演となります。